

氏名	職名	学位
大野 好司	教授	修士(学術)

担当科目	「教職概論」、「教育行政学」、「キャリアデザイン B・B2」、「キャリアデザイン A・B1」、「教職キャリアデザイン I」、「教職キャリアデザイン II」、「介護等体験事前指導 I」、「介護等体験事前指導 II」、「基礎演習」、「プレゼミ」、「総合演習 I」、「総合演習 II」、「卒業研究 I」、「卒業研究 II」
研究分野	教育経営学
所属学会	日本教育経営学会

学会および社会における主な活動
埼玉県高等学校教育振興会 会長 (平成 28 年 6 月～) 一般社団法人 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会 参与 (令和 2 年 6 月～) 一般財団法人 共生教育財団 評議員 (令和 3 年 6 月～) 川越市立川越高等学校教育審議会 委員 (令和 5 年 3 月～)
主要研究業績
○執筆 「教職概論」における受講生の『ICT 活用能力の向上』～Google Jamboard の活用による効果的な対面授業の在り方～ (尚美学園大学スポーツマネジメント研究紀要 第 5 号 研究ノート 11-21 令和 4 年 12 月 25 日発行) 「総合的な探究の時間」における校長のリーダーシップに関する実践研究～埼玉県立川越総合高等学校の事例から～ 共著 (宮坂雄悟、服部修) (尚美学園大学教職課程年報 第 5 号 教育実践報告書 9-19 令和 5 年 3 月 31 日発行)
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
小泉 昌幸	教授	体育学修士

担当科目	健康教育法（健康教育法Ⅰ）、サッカー指導法Ⅰ/Ⅱ（スポーツ指導法A1/A2）、現代スポーツ概論（スポーツ政策概論）、スポーツとウェルネス、スポーツ方法・球技A、スポーツ方法・ソフトボール、教養スポーツA、雪上実習、プレゼミ、スポーツマネジメント実習、総合演習Ⅰ/Ⅱ、卒業研究Ⅰ/Ⅱ
研究分野	スポーツ方法学、学校保健
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会、日本スポーツ産業学会、日本コーチング学会 日本スポーツ教育学会、日本学校保健学会

学会および社会における主な活動	
なし	
主要研究業績	
日本サッカー協会公認 C 級コーチ養成講習会の新カリキュラムにおける指導実践の受講生自己評価とインストラクター評価の違いに関する一考察（尚美学園大学教職課程年報 第 5 号）	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
海老原 修	教授	教育学修士

担当科目	スポーツ社会学、基礎演習、総合演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ スポーツ社会調査論、スポーツ情報処理、スポーツとまちづくり 健康教育法Ⅲ、プレゼミ、スポーツマネジメント実習
研究分野	スポーツ社会学 発育発達 スポーツ科学
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会 日本発育発達学会 日本スポーツ社会学会 日本ウォーキング学会

学会および社会における主な活動
<ul style="list-style-type: none"> ●日本体育・スポーツ・健康学会 海老原修 (2022) : 体育社会学の専門性を俯瞰する、日本体育・スポーツ・健康学会第 72 回大会体育社会学専門領域キーノートレクチャー (2022. 09. 02) ●日本発育発達学会 ●日本スポーツ社会学会 ●日本ウォーキング学会 ●月刊・体育の科学 編集委員 (1999.10.01.～2023.03.01.)、編集長 (2013.03.01.～2023.03.01.)
主要研究業績
<ul style="list-style-type: none"> ●海老原修 (2023) : 喧鬧ノ遊戯・嘈鬧タル遊戯ハ敢テスポーツト申シ述ヘル可キカ～身体活動を伴わないスポーツ～、体育の科学 73 (6) ; 395-399 ●海老原修 (2023) : スポーツライフ・データ 30 年を振り返って～継続と共有、そして証拠づくり～、スポーツライフ・データ 2022 スポーツライフに関する調査報告書、pp. 24-26 (203 ページ) ●海老原修 (2023) : はじめのことば : 運動部活動の地域移行に向けて、体育の科学 73 (4) : 218～221. ●海老原修 (2022) : はじめのことば : 論争なき体育・スポーツ政策、体育の科学 72 (6) : 370～374.
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
<ul style="list-style-type: none"> ●海老原修 (2019) : 障害者スポーツのリバースインテグレーションによるインクルーシブスタンダードの開発、2019 年度文部科学省科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金・基盤研究 (B) (一般) (課題番号 19H03997) (～2021 年度) 延長措置にて 2022 年度) ●海老原修 (2022) : 体力・運動能力テストにともなうジェンダー・バイアスの再生産、基盤研究 (C) (一般)、不採択

氏名	職名	学位
小野里 真弓	教授	修士 (スポーツ科学)

担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツマネジメント論 ・チームマネジメント論 ・健康教育法Ⅱ ・総合演習Ⅰ・Ⅱ ・基礎演習 ・スポーツマネジメント実習 ・スポーツマーケティング演習 ・スポーツ施設マネジメント演習 ・スポーツビジネス論Ⅰ ・卒業研究Ⅰ・Ⅱ ・プレゼミ
研究分野	スポーツマネジメント, スポーツマーケティング
所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ・日本体育・スポーツ・健康学会 ・日本体育・スポーツ経営学会 ・北関東体育学会 ・日本スポーツ産業学会 ・日本スポーツマネジメント学会

学会および社会における主な活動
<ul style="list-style-type: none"> ◆北関東体育学会 監事 ◆第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会 施設整備専門委員会 委員 (委員長) ◆伊勢崎市スポーツ推進審議会 委員 (委員長) ◆群馬県渋川市スポーツレクリエーション協会創立30周年記念式典にて記念講演
主要研究業績
なし
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
梶 孝之	准教授	博士（体育科学）

担当科目	スポーツ史、スポーツマネジメント実習、基礎演習、総合演習、プレゼミ、スポーツ方法・体づくり、スポーツ方法・陸上競技、eスポーツビジネス論、スポーツ指導法 D（野外実習・キャンプ）
研究分野	体育・スポーツ史、スポーツ産業史、体育方法学
所属学会	日本体育学会、日本スポーツ産業学会、東北アジア体育・スポーツ史学会、日本体育史学会

学会および社会における主な活動
<p>○学会活動 スポーツ産業学会スポーツ産業史専門分科会 運営委員</p> <p>○社会活動 トレーニングルームスチューデントスタッフを採用し、指導を行っている。学生には、将来、トレーナーやクラブ運営等に携わりたいという希望を抱く者が多く、進路としての可能性を開拓する必要がある。そこで、尚美学園大学学生を組み込み、管理運営経験の場を創出すると共に、トレーナー資格取得に必要な勉強会を設定し、学生の学習成果をキャリアに結びつけようと試みた。今後の活動のコアとなるべく学生 20 名を採用した。</p> <p>○出張講義 ・東京成徳大学深谷高校出前授業、令和 4 年 12 月 16 日、「体育学」。 ・昭和第一高校出前授業、令和 5 年 1 月 11 日、「体育学」。</p> <p>○大学見学会 ・鶴ヶ島清風高校講義、令和 5 年 1 月 26 日、「体育学」</p>
主要研究業績
<p>○研究論文 ・『日本スポーツ用品業界の動向—日本運動具新報（昭和 23 年-26 年）の記事分析を手がかりとして—』、令和 4 年 6 月、尚美学園大学スポーツマネジメント学部紀要第 4 号。 ・『阿部生雄先生追悼記念集録』、令和 4 年 12 月、城島印刷株式会社。</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績

氏名	職名	学位
宮坂 雄悟	准教授	修士（教育学）

担当科目	「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」 「教育実習指導（保健体育）3年」「教育実習指導（保健体育）4年」 「教職実践演習」「介護等体験事前指導Ⅰ」「介護等体験事前指導Ⅱ」 「総合的な学習の指導法」「レクリエーション実習」「コース演習」 「スポーツ指導法B（雪上実習・スキー/スノーボード）」 「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」
研究分野	保健体育科教育学、スポーツ社会学
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会、日本体育科教育学会、 日本体育・スポーツ政策学会、日本教育社会学会

学会および社会における主な活動	日本体育・スポーツ政策学会 広報運営委員 全国体育学習研究会 広報委員
主要研究業績	<p>・「“コト”を視点とした体育授業デザイン」 西九州大学紀要第13号 2022年4月 木村翔太¹⁾・松本大輔²⁾・宮坂雄悟³⁾・原祐一⁴⁾ (東京学芸大学附属世田谷小学校¹⁾・西九州大学²⁾・尚美学園大学³⁾・岡山大学学術研究院教育学域⁴⁾)</p> <p>・「総合的な探究の時間」における校長のリーダーシップに関する実践研究 ～ 埼玉県立川越総合高等学校の事例から ～ 尚美学園大学 教職課程年報第5号、2023年3月 大野 好司¹⁾・宮坂 雄悟¹⁾・服部 修²⁾ (¹⁾尚美学園大学・²⁾埼玉県立川越総合高等学校)</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	なし

氏名	職名	学位
仁木 康浩	専任講師	体育学修士

担当科目	トレーニング論, 運動学Ⅰ・Ⅱ, 教養スポーツB (バレー・テニス), スポーツ方法・水泳, スポーツ方法・球技 (バレー・バドミントン), 基礎演習, プレゼミ, スポーツマネジメント実習, 総合演習Ⅰ・Ⅱ, 卒業研究Ⅰ・Ⅱ
研究分野	水泳水中運動, トレーニング科学, 身体動作学
所属学会	日本トレーニング科学会, 日本体育学会, 日本バイオメカニクス学会, 東京体育学会, 日本水泳・水中運動学会

学会および社会における主な活動
<p>○社会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財) 日本水泳連盟 富山県水泳指導員養成講習会 講師・検定委員 ・日本スポーツ協会共通科目コーチデベロッパー ・日本水泳連盟 OWS 医科学委員スタッフ <p>○外部講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化学園大学「スポーツ演習」非常勤講師 ・東洋大学「アクアビクス指導法」非常勤講師 ・上尾中央看護専門学校「健康スポーツ学」非常勤講師 <p>○出張講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度公認スポーツ指導者「共通科目Ⅲ集合講習会」CD担当 令和4年8月 ・富山県水泳指導員養成講習会「水泳指導者・水泳指導法」令和4年9月 ・南砺市水泳協会「水泳協会員研修会」講義・実技講師 令和5年2月
主要研究業績
<p>○研究論文</p> <p>(共著)「保健体育教員養成課程における学生の水泳能力と学校水泳授業に対する好嫌度の関係」尚美学園大学教職課程年報第5号, p1~7 (令和5年3月31日発行)</p> <p>○雑誌</p> <p>(共著)「Open Water Swimming 競技の日本人選手と世界トップ選手におけるレース展開の近い」月間水泳3月, p,14~17</p>
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績
なし

氏名	職名	学位
舟木 泰世	専任講師	修士(スポーツ健康科学)

担当科目	基礎演習, プレゼミ, 総合演習Ⅰ・Ⅱ, 卒業研究Ⅰ・Ⅱ, コミュニティスポーツ論, クラブマネジメント, スポーツマネジメント実習, 生涯スポーツ論, スポーツマネジメント, レジャーと社会
研究分野	スポーツ社会学, スポーツマネジメント, スポーツ政策
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会, 日本生涯スポーツ学会, 日本体育・スポーツ政策学会

学会および社会における主な活動	
<p>○学会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会若手研究者委員会 委員 <p>○社会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日本スポーツ協会指導者育成委員会マネジメント部会 部会員 ・公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 常任幹事 ・公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会広報部会 部会員 ・公益財団法人日本スポーツクラブ協会カリキュラム専門委員 ・令和4年度スポーツクラブマネジャー養成講習会講師 (令和4年6月5日, 9月11日) 	
主要研究業績	
<p>○学会発表 (口頭発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本生涯スポーツ学会 第24回大会 「地域スポーツ政策に対するデルファイ法を用いた評価の信頼性～2011年調査結果と2022年調査結果の比較～」(令和4年10月) 	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	

氏名	職名	学位
茂木 康嘉	専任講師	博士(スポーツ科学)

担当科目	スポーツ生理学, 発育発達論, バイオメカニクス, 教養スポーツ C (卓球・バド), スポーツ表現 B (バドミントン), スポーツ表現 E (卓球), 雪上実習, 基礎演習, プレゼミ, 総合演習 I・II, 卒業研究 I・II
研究分野	発育発達学, バイオメカニクス, トレーニング科学
所属学会	日本体育学会, 日本体力医学会, 日本発育発達学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本体育測定評価学会

学会および社会における主な活動	
特別非営利活動法人子ども大学かわごえ 理事 子どもの体力測定教室, (2022年8月), 株式会社コーディスポーツとの連携 子どもの体力測定教室, (2022年9月), 株式会社コーディスポーツとの連携	
主要研究業績	
○Mogi, Y., & Wakahara, T. (2022). Effects of growth on muscle architecture of knee extensors. <i>Journal of Anatomy</i> , 241(3), 683-691. ○茂木康嘉. (2022). 遠隔授業の授業形式に関するアンケート調査. 尚美学園大学スポーツマネジメント研究紀要, 5, 1-9.	
文部科学省等公共機関の研究補助プロジェクト等への申請実績	
なし	